

# 国際業務の 窓辺から

CLAIR 経験者からの  
メッセージ

## クリア勤務の経験を今に生かす ～再び中国へ～



鹿児島県上海事務所 辻 大輔

### 初めての海外勤務

2003年4月から2年間、私は自治体国際化協会北京事務所に勤務しました。当時の日本メディアは、反日デモなど中国のネガティブな情報であふれていたため、家族を伴っての中国勤務は不安だけでした。

しかし、現実の中国の姿は報道と大きく違い、今後大きく成長していく可能性を肌で感じました。また、中国の地方政府関係者などと一緒にさまざまな事業に取り組んだことは大変良い経験となり、一部の方とは今でも私的な交流が続いています。

### 再び中国へ

帰国後は広報課に配属され、その後企画課、観光課などで勤務しました。その間、海外関係の業務を行うことはありませんでしたが、2016年に鹿児島県上海事務所に配属となり、約10年ぶりに再度中国で勤務することとなり現在に至っています。

中国社会の変化のスピードは速く、久しぶりに訪れた中国はすっかり様変わりしていました。高層ビルが急速に増え、シェアサイクルが街中に溢れかえり、誰もがモバイル決済を使いこなしている様子は10年前には想像もつかない風景でした。一部の分野では、すでに日本を上回っているのではと感じることもあります。

一方で、人のつながりを大事にする仕事の進め方など変わっていない部分もあり、北京事務所での業務経験が今に生かされていると感じています。

### 人のつながりを生かす

例えば、本年4月に、中国で最も著名なドラマ・映画俳優の一人である林棟甫氏が「かごしま焼酎大使」に就任されましたが、同氏の発案により、本年8月、上

海で鹿児島の焼酎と料理を楽しみ、語らい、鹿児島を発信する友好交流拠点として「JAZZ IN SHOCHU 鹿児島料理」がオープンしました。

また、在上海九州各自治体事務所は2016年から毎年「九州マンス」と銘打って、合同でレストランフェアや九州物産展を開催しています。

いずれも、人のつながりによって予想以上の成果を実現していると言えるのではないでしょ



「九州マンス」の一環として開催した大九州人会（合同県人会）

うか。海外勤務では日本のやり方が通用しない場合も多いですが、これからもクリアでの経験を生かして取り組んでいきたいと考えています。



「JAZZ IN SHOCHU 鹿児島料理」オープニングイベント（左は岩切鹿児島県副知事、右は林棟甫氏）

### プロフィール

- 現職：  
公益社団法人鹿児島県特産品協会上海代表処 代表
- 業務内容：  
中国における特産品の販路拡大、観光誘致、国際交流 など
- クリア時代の所属：  
2003年4月～2004年3月 クリア東京本部交流協力部 交流親善課  
2004年4月～2006年3月 北京事務所 所長補佐